

# げんでんつるが

特別号  
2014年11月  
第34号

## 敦賀発電所では、さまざまな冷却手段を用意し、万一の災害に備えています。

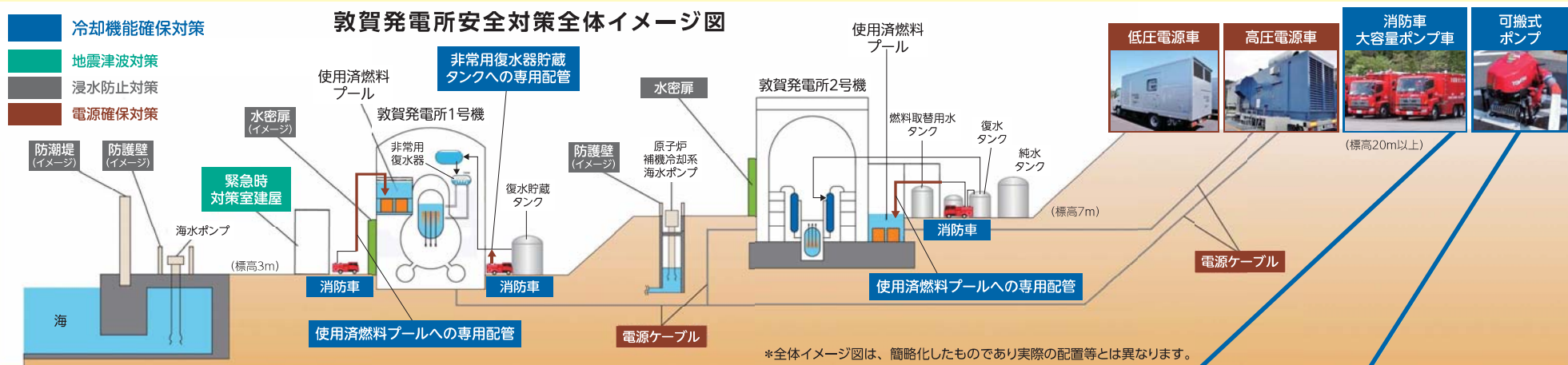
敦賀発電所では、福島第一原子力発電所の事故から得た知見等を踏まえ、さまざまな安全対策を行っていますが、今号では、原子炉や使用済燃料プールの「冷却機能を確保するための対策」についてお知らせします。

日本原子力発電株式会社

### 原子炉や使用済燃料プールの冷却に必要な機能を強化しました

敦賀発電所では、すべての電源を失ったとしても、原子炉などへの冷却水の供給を万全にするため、大容量ポンプ車などを配備するとともに、屋外から使用済燃料プールに直接注水できる専用配管を新たに設置しました。

なお、大容量ポンプ車などは、津波の影響を受けない高台（標高20m以上）に設置するとともに、これらを使った訓練も繰返し行っています。



私たち原電は、敦賀発電所の安全対策に全力で取り組んでいます。

## 地域の皆さまから寄せられたご質問にお答えします

Q：配備した消防車、大容量ポンプ車、可搬式ポンプで、原子炉や使用済燃料プールを冷やすことはできるのでしょうか？

A：敦賀発電所2号機の場合は、電源がなくなった場合でも、蒸気発生器で発生した蒸気で動かすタービン動補助給水ポンプを使って、蒸気発生器に給水することにより、原子炉を継続的に冷やすことが可能です。その水源である復水タンクに必要な水を大容量ポンプ車などにより給水し、さらに長期間、原子炉を冷やすことができます。

また、使用済燃料プールについては、別の注水ルートとして専用配管を新たに設置し、屋外から直接注水して冷やすことができます。

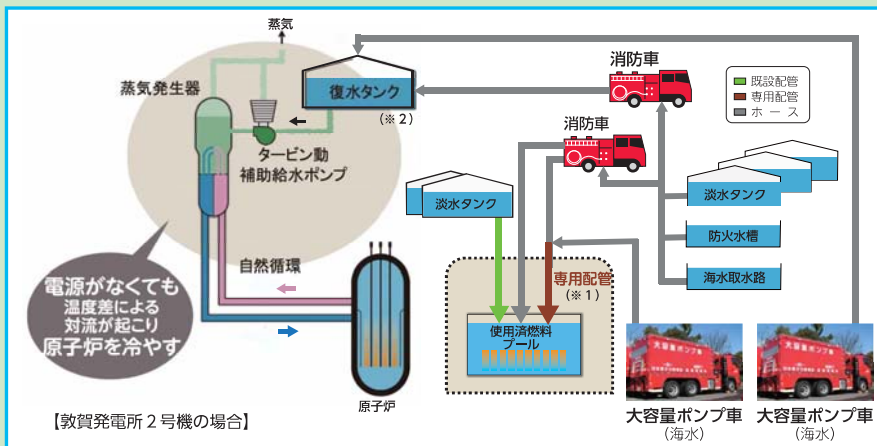
### 《冷却水を供給する手段を複数整備》 原子炉と使用済燃料プールを確実に冷やすことが可能

#### 《専用配管の設置》

専用配管（右図※1）を使用して大容量ポンプ車や消防車から使用済燃料プールに直接注水できます。



消防車を使った使用済燃料プールの専用配管への接続訓練



【敦賀発電所2号機の場合】

#### 《大容量ポンプ車や消防車の配備》

原子炉を冷やすために必要な水源である復水タンク（左図※2）に給水することが可能です。



消防車による復水タンクへの給水訓練

### 公開研修コースのご案内（敦賀総合研修センター）

敦賀総合研修センターでは、社員研修施設としての機能はもとより、国内外の技術者や学生など、さまざまな方を対象に、原子力安全に関する基本的な知識の習得と技能向上を目指した「公開研修コース」を開設しております。

平成26年度募集コースは、安全文化関係研修6コース、実習を含む安全技術関係研修23コースの合計29コースを設定しております。（詳細は当社ホームページをご覧ください。）

◀（安全体感研修）宙吊りを体感し、安全帯の重要性を確認

#### 【公開研修に関するお申込み・お問い合わせ先】

##### 敦賀総合研修センター

（福井県敦賀市沓見165号9番地6）

- ・電話：0770-21-9700
- ・メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp
- ・ホームページ：http://www.japc.co.jp

げんでん 敦賀研修センター | 検索



## 日本原子力発電株式会社 敦賀地区本部 業務・立地部

お問い合わせ先 〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9-16 TEL 0770-25-5713（土日祝日を除く9時～17時）  
敦賀発電所安全対策および敷地内破砕帯調査に係る情報については、当社ホームページに掲載しています。（http://www.japc.co.jp）